

平成 29 年 2 月吉日

各 位

一般財団法人 石橋湛山記念財団

代表理事 石 橋 省 三

平成 29 年度・第 38 回石橋湛山賞授賞候補作品推薦のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

皆様方より多大なご支援を賜っております「石橋湛山賞」は、本年で第 38 回目となります。この間に受賞された方は、別紙のように 38 名・41 作品にのぼり、経済、政治、社会など種々の分野で指導的な役割を果たされている方々に対する賞として論壇に定着し、各方面より多くの関心をいただいております。

ご案内の方も多いかと存じますが、この賞は石橋湛山の業績を記念し、その自由主義・民主主義・平和主義（国際協調）の考え方をベースに、啓蒙的かつ優秀な言論作品を授賞するものでございます。この授賞により、作者の方々のますますのご活躍を祈念するとともに、その作品を世の中により広く認知いただき、いささかなりとも社会的に貢献することを狙っております。

つきましては、ご多用中まことに恐縮に存じますが、平成 29 年度・第 38 回授賞作品の候補として、過去 1 年間（平成 28 年 3 月より 29 年 2 月）の間でお心に留まりました論文、評論、随想などをご推薦いただきたくお願い申し上げます。なお、ご推薦は別紙の要項によっていただきたく存じます。最近、書籍が授賞作品になるケースが続いておりますが、同要項に書いてあります通り、本賞は論文や評論に対して授賞することを本来の目的としております。短い作品も当然のことながら授賞対象となりますので是非ご推薦下さい。皆様によりご推薦いただいた候補作品は、石橋湛山賞選考委員会（脚注参照）において慎重に審査の上、原則として 1 編を選定し、本年 7 月頃に発表の予定でございます。

皆様方のご支援と優れた候補作品のご推薦が、石橋湛山賞のプレステージを維持・向上させる上で不可欠でございます。是非とも積極的にご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

（注）石橋湛山賞の選考委員会は、当財団、東洋経済新報社、経済倶楽部の各役員、および学識経験者により構成されます。

第 38 回石橋湛山賞候補作品の推薦にあたってのお願い

1. 推薦作品について：昨平成 28 年 3 月より本平成 29 年 2 月までの間に発表された論文や評論などの言論作品をご推薦下さい。雑誌・研究機関誌・新聞あるいは書籍（特に推薦された重要部分をお示し下さい）の何れに掲載された作品でも結構です。政治・経済・外交・文化などの領域において自由主義・民主主義・平和主義の考え方に沿った優れた作品で、石橋湛山賞に相応しいとお考えのものをお願いいたします。
2. ご留意いただきたい点：
 - ① 広く一般の読者に理解し易い論文・評論・著作であること。
 - ② 現下の政治・経済・社会（教育・文化を含む）の国民的な課題を真正面から採り上げた時評あるいは政策評論であること。
 - ③ 学者・専門家の極めて特定な領域に限られた研究書または学者間の論争に類するものは避けられたいこと。
 - ④ 名の通った大家の作品よりも、新進気鋭の将来を期待できる方の作品をご考慮いただきたいこと。もちろん、年齢は問いません。
 - ⑤ 過去に「石橋湛山賞」を授賞された方及びご自身（自推）の作品を除いていただきたいこと。
3. ご回答は、同封の用紙にてお願いいたします。書き切れない場合は、別紙をご利用いただいても結構です。また、メールやファックスによるご回答も受け付けております。
4. ご回答は、平成 29 年 3 月 31 日（金曜日）までに頂戴いたしたく存じます。

今回、ご推薦をお願いいたしましたのは、当財団の賛助会員をはじめとした関係者および経済界・学界・評論界・政界などの有力者の方々でございます。

以上

一般財団法人 石橋湛山記念財団事務局

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町 1-2-1 東洋経済ビル 7 階

電話・ファックス 03-3270-8070

Eメール zai.tanzanzaidan@juno.ocn.ne.jp